

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぬくもりの郷 (ぬくっこ)				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0	現在の定員数に関しては適切だと感じる。	基準は満たしている。活動により手狭に感じる事がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	人員配置を順守している。	人員配置は適切と感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	1	建物はバリアフリー化はされている。ホワイトボード活用し日程を知らせている。また、言葉・文字での理解が難しい利用児に対しては、写真や絵を用いて知らせている。	構造化された生活空間・環境の構築。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0	毎日清掃を実施し、清潔を保っている。自由時間は、クッションを使って横になれるスペースがある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	パーティションを活用し仕切ることができている。広いデッキが併設されているので、利用児は落ち着くことのできる場所を確保している。	訓練室以外にもウッドデッキや更衣スペースなどに行くことはできるが、完全にひとりになれる空間はない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	1		PDCAサイクルのようにシステム的にはっていない。非常勤職員は参画する機会は少ない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	保護者向けアンケートを実施している。	年に1回、保護者アンケートを取っている。個別面談時に意向の聞き取りを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	常勤職員は、毎日支援時間前に話し合いをする機会がある。非常勤については、支援前の時間帯に話を聞くことができる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	定期的実施している。3年に1度第三者評価を受審している。	毎年自己評価を実施している。3年に1度の第三者評価を受審している。令和4年に第三者評価を受審した。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	適切な研修参加を行っている。Web講座にて研修を実施している。	非常勤職員に関しては、サボカシを視聴しての研修をおこなっている。	
適切な+	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	1	ホームページ上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	0	半年に1度、保護者との面談をおこない、その中からニーズや課題を見つけている。利用児に関しては、日々の支援・会話の中から課題を共有し計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	支援計画の作成は、担当職員でおこない、児童発達支援管理責任者が修正、確認をおこなっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	非常勤も含め個別支援計画の確認により共有を図っている。計画を非常勤職員にも共有している。	相談員が実施するサービス調整会議に参加している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	アセスメント用紙を用いて入所時の状況を把握し、日々の様子を事業日誌・ケース記録ソフトに記録することで変化や現状を確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	1		地域支援・地域連携に関する支援内容が設定しにくく、支援内容に盛り込まれているとは言えないところもある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0	打ち合わせの中で常勤職員が日々の活動・長期休暇（夏休み）の活動に関しては、以前に行った時の利用児たちの様子を踏まえ、計画している。	常勤2人で立てているため、マンネリ化しやすい。	

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1	個別課題、運動をおこなう時間を設け、その中で活動内容を変えている。	工夫を凝らしているが、マンネリ化してしまっているところはある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	0	活動プログラムは共通し、本人の調子によって不参加も選択肢としている。個別課題と歩行や運動をする時間を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	学校があるときには、支援前に十分に話し合う時間がある。また、長期休暇のときは前日に確認をおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	事業日誌にその日の利用児の様子を残し翌日には非常勤職員に記録の回覧をしている。	非常勤職員と振り返りを行う時間が取れないため、常勤職員間での振り返りばかりになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めているか。	1	1	記録をとり、全職員に周知をしている。事業日誌にその日の利用児の様子を残している。また、欠席連絡があった場合は、ケース記録ソフトに残している。	記録は残しているが、支援中心ではなく児童の様子中心である。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	半年に一度、モニタリングをおこなっている。それに沿って次の計画を作成している。半年に1度は面談を行いモニタリング・計画書の見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	1	1		「地域交流の機会の提供」が弱い。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	0	課題については、自分のやりたい課題を選択できるようにしている。おやつ選択も数種類ある中から選んでいる。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	常勤職員2人で参加するようにしている。自立支援協議会の会合に積極的に参加している。常勤の職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1		相談支援専門員との連絡は密にとっている。学校とは送迎時に申し送り程度であり。医療機関等とは連携が取れているとはいえない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	1	保護者からの情報提供と学校HPからの情報取得により対応している。送迎時間の誤りがあった時には連絡がある。学校の年間行事計画はホームページから印刷している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	1	対象外ではあるが、特別支援学校中等部から高等部へ上がった児童に関しては情報を取得することがある。	中等部、高等部対象の放ディのため。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	移行する前に担当者会議をおこなっている。体験会などの企画を実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	相談員が作成した支援計画をもとに個別支援計画を作成している。年に1回担当者会議をおこなっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	2		同じ公園などで別々に遊ぶ程度である。中等部、高等部対象の放ディのため、利用ができない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0	担当者が参加し、中心となって活動に取り組んでいる。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	連絡帳にてその日の出来事を適宜報告している。また日々の送迎時に口頭にて説明することもある。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	情報提供をおこなっている。	相談を受ければ助言をしたり、面談時に助言をすることもあ。積極的な支援は行っていない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	契約時に説明をおこなっている。	契約時に1度だけおこなっているだけでそれ以降説明（確認）することはおこなっていない。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	常に把握する努力はしている。家族の意向は面談時に、本人の意向は日頃の活動中などに確認することが多い。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	0	支援計画を2部作成し、本人（保護者）控え、事業所控えそれぞれが保管している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	半年に一度の面談だけではなく、送迎時や電話でのやり取りで相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	2		父母の会（保護者会）がない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	苦情窓口は事業者玄関に掲示し周知を図っている。苦情受付の流れ、様式は規程にて整備されている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	1	活動状況をブログに掲載することがある。	活動時の様子などは毎回伝えるようにしているが、通信やHP、SNSでの発信は少ない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報保護規程を遵守している。契約時に個人情報の取り扱いについて説明し個人情報使用同意書をもらっている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	外国籍の利用者、保護者に対して、簡潔な日本語で表現したり工夫したりしている。保護者と連絡を取るときに連絡時間の配慮が必要な方には適した時間になっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2		併設事業所としての行事に放課後等デイサービスも一緒に参加している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		各マニュアルは策定されている。周知は職員までに止まり家族までは周知に至っていない。避難訓練は実施済み
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0	併設事業所の計画に準拠している。業務継続計画（BCP）は策定されている。水や食料の備蓄はある。定期的に避難訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	0	契約時のアセスメントで確認している。服薬している利用児は朝、夕の服薬になっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1	アセスメントで把握している。現在重篤になるアレルギー児はなく、甲殻類のアレルギー児は、把握し対応している。	対象児童なし。医師の指示書までは頂いていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		計画はあるが非常勤職員を含めると研修がおこなわれていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		台風の対応は保護者に知らせているが、その他（地震・火災）については周知が不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	ヒヤリハットを共有している。再発防止の方策を検討し実施している。	ヒヤリハットの件数は少なく提出しやすいシステム作りが必要である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	法人内の権利擁護委員会に担当者が参画している。非常勤職員も含め、研修をおこなっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	0	契約時に保護者に説明をおこなっている。半年に一度されている個別支援計画の中に記載されている。面談時に保護者に丁寧な説明を行い理解と了承をえて支援計画書に記載している。	